

## 会員アンケート実施報告

### 1. 実施概要

- 実施期間：2019年11月6日～11月29日
- 実施対象：日本臨床腫瘍薬学会（2019年11月6日時点の全会員）
- 実施方法：Google フォームを利用、URL を email にて配信
- 設問数全 22 問、所要時間 5-10 分程度、無記名形式
- 配信数：3662 名（事務局より宛名を付記し個別に送信）
- 回答率：22.2% (813 名)

## 2. 回答者について

### Q17. 年齢

	n	%
20代	58	7.1
30代	406	49.9
40代	248	30.5
50代	74	9.1
60歳以上	27	3.3
計	813	

### Q18. 性別

	n	%
男	500	61.7
女	311	38.3
計	811	

### Q20. 職場の種類

	n	%
病院・診療所	623	77.0
薬局	166	20.5
教育機関	13	1.6
行政機関	3	0.4
製薬企業	3	0.4
製薬企業以外の臨床開発系企業	0	0.0
学生	1	0.1
その他	0	0.0
計	809	

### Q21. 職場環境

#### がん診療拠点病院、または地域がん診療病院

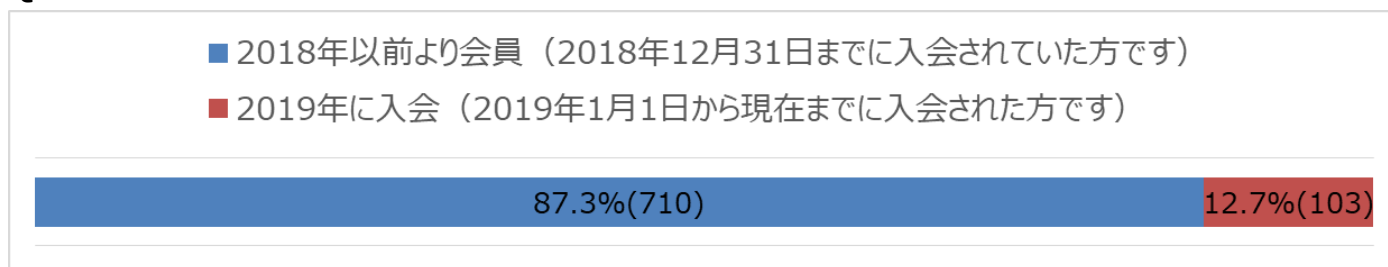
	n	%
はい	413	67.0
いいえ	203	33.0
計	616	

### Q19. 都道府県

	n	%
北海道	47	5.8
青森	6	0.7
岩手	8	1.0
秋田	2	0.2
宮城	7	0.9
山形	3	0.4
福島	3	0.4
埼玉	60	7.4
千葉	47	5.8
茨城	16	2.0
栃木	14	1.7
群馬	14	1.7
東京	119	14.6
神奈川	73	9.0
山梨	4	0.5
新潟	14	1.7
長野	10	1.2
富山	2	0.2
石川	10	1.2
福井	2	0.2
愛知	42	5.2
静岡	18	2.2
三重	8	1.0
岐阜	12	1.5
大阪	56	6.9
京都	11	1.4
奈良	4	0.5
滋賀	6	0.7
和歌山	5	0.6
兵庫	21	2.6
岡山	11	1.4
広島	12	1.5
山口	5	0.6
島根	5	0.6
鳥取	0	0.0
香川	7	0.9
愛媛	9	1.1
徳島	2	0.2
高知	4	0.5
福岡	49	6.0
長崎	12	1.5
佐賀	8	1.0
大分	7	0.9
熊本	13	1.6
宮崎	6	0.7
鹿児島	12	1.5
沖縄	6	0.7
その他	1	0.1
計	813	

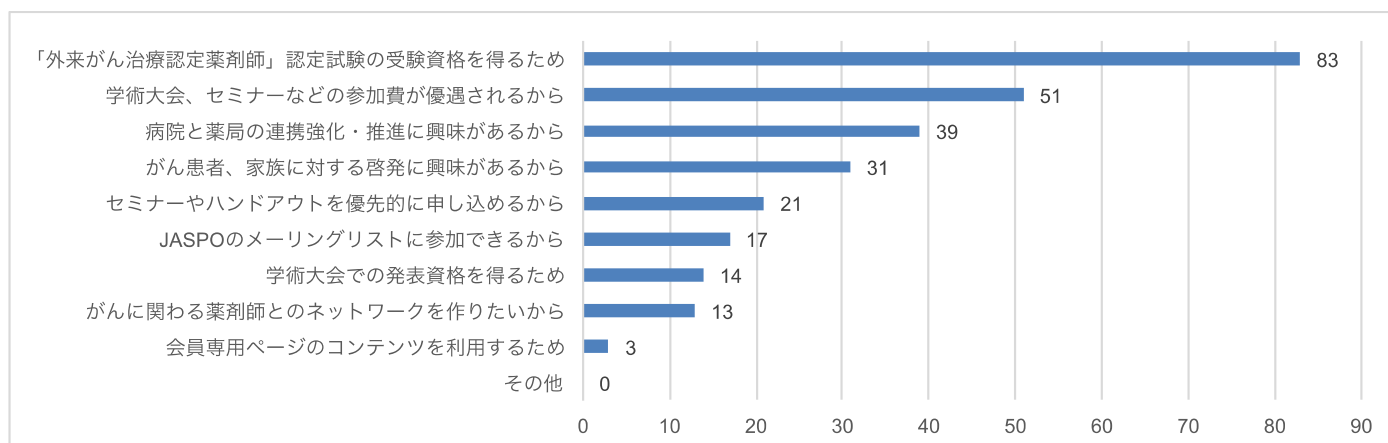
### 3. 集計結果

#### Q1. あなたはいつ入会されましたか？

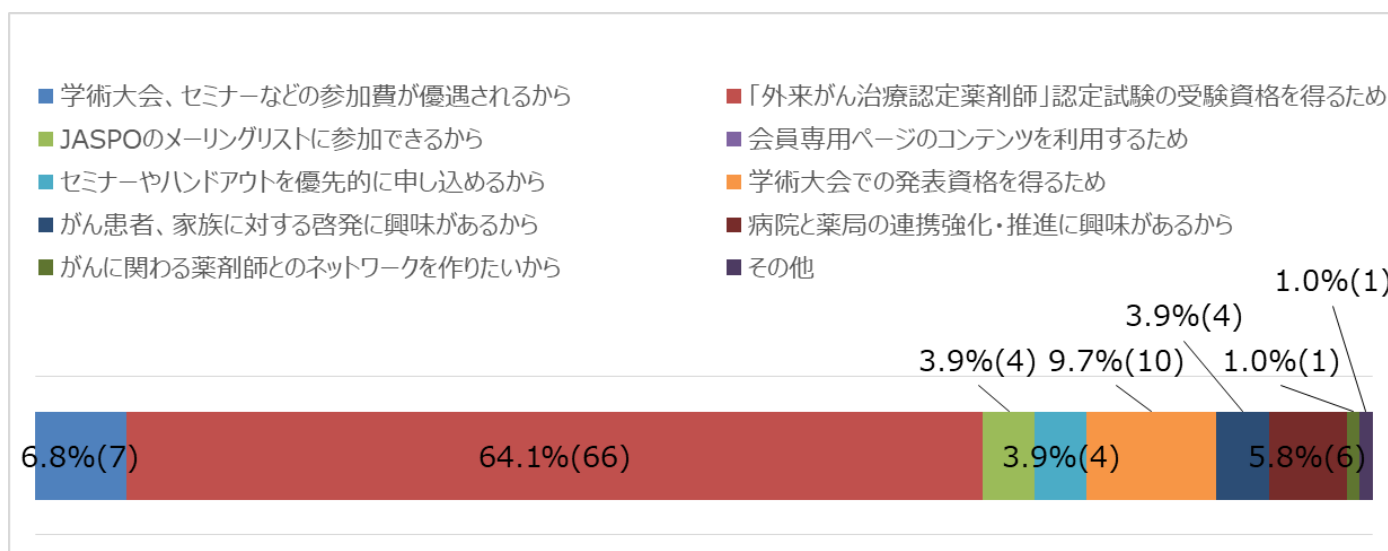


#### JASPO への入会理由に関する質問（2019 年に入会した方を対象）

#### Q2. JASPO への入会理由はなんですか？当てはまるものを全て選択してください（複数回答可）

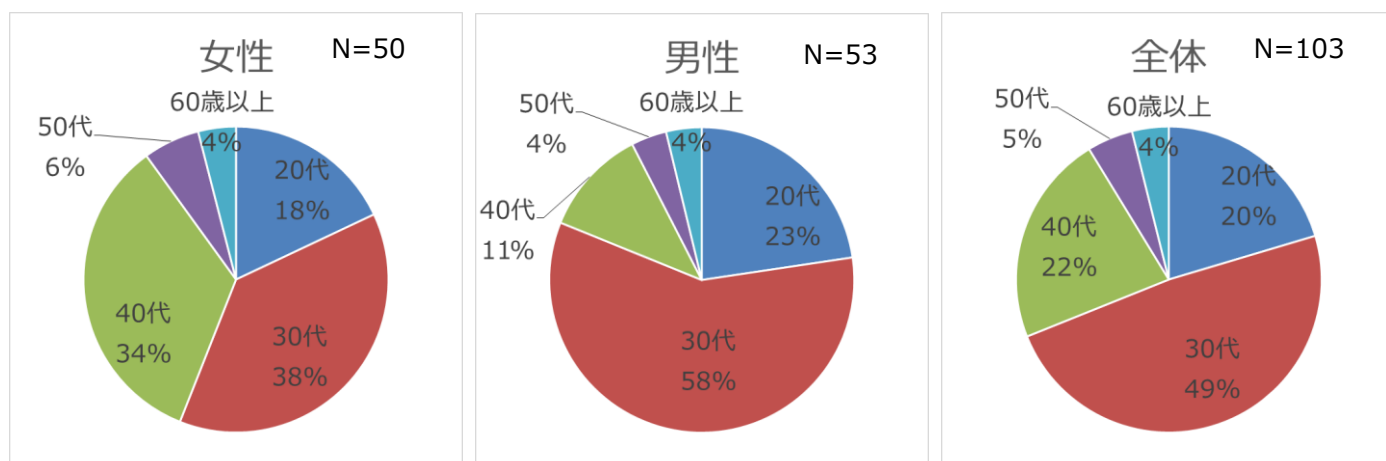


#### Q3. JASPO への入会理由はなんですか？最も当てはまるものを1つ選択して下さい。(n=103)

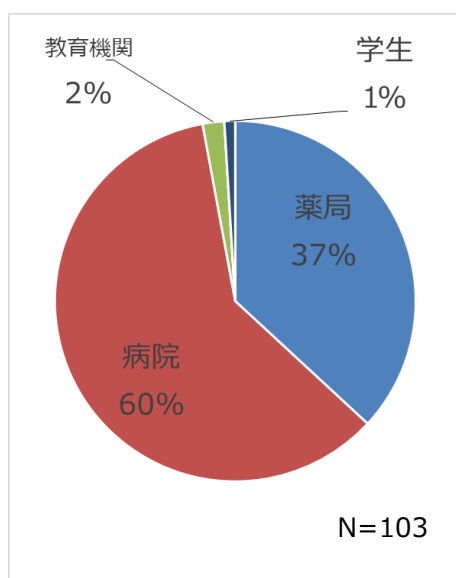


## 今年度新規に入会された会員の分析

### 〈年齢別男女比〉



### 〈職場の種類〉



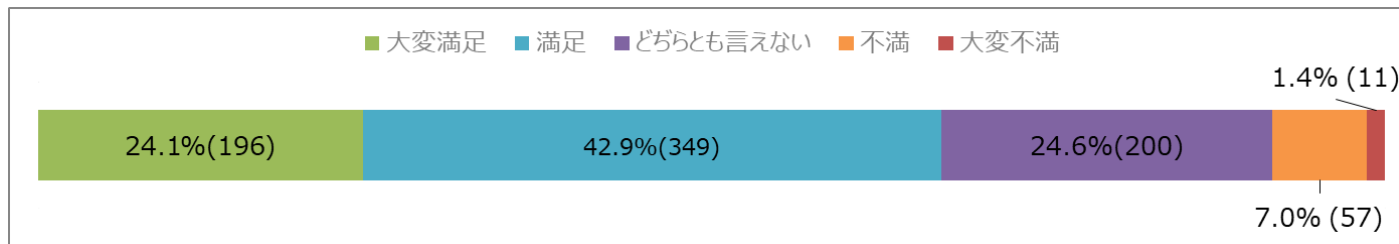
- ・ 新規に入会した会員を年齢別に分類すると、男性は30代が最も多く半数以上を占めるが、女性は30代と40代以降に入会される方が多くそれぞれ30%以上となった。
- ・ 全体としては30代から40代にかけて入会される方が最も多かった。
- ・ 職場の種類における分類では、薬局が37%、病院が60%であった。

最大入会理由	人数	関連する入会理由 (%)		
		第1位	第2位	第3位
認定制度	66	参加費優遇 (48.5)	病薬連携 (39.4)	啓発活動 (25.8)
学会発表	10	参加費優遇 (50.0)	認定制度(20)/優先申し込み(20)/啓発活動(20)	
参加費優遇	7	認定制度 (85.7)	メーリングリスト(28.6)/優先申し込み(28.6)/啓発活動(28.6)	
病薬連携	6	啓発活動(50.0)/ネットワーク(50.0)		認定制度(33.3)

- ・ 新規に入会された方の最大入会理由と、その他にも入会理由があれば選択して頂いた。
- ・ 最も多かった最大入会理由は認定取得のためであり、その他の理由に参加費優遇が挙げられた。
- ・ 認定制度以外の最大理由を選択された方でも、その他の理由として認定制度を挙げた方が多かった。

## JASPO のそれぞれの事業への満足度に関する質問 (n=813)

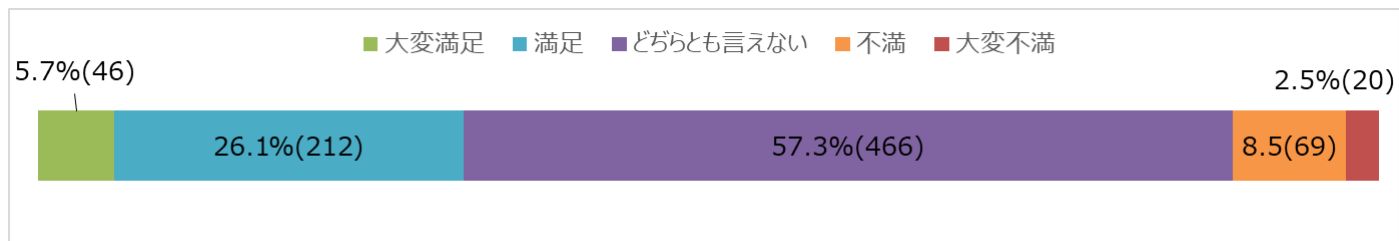
### Q4. 学術大会、講演会、セミナー、研修会の開催



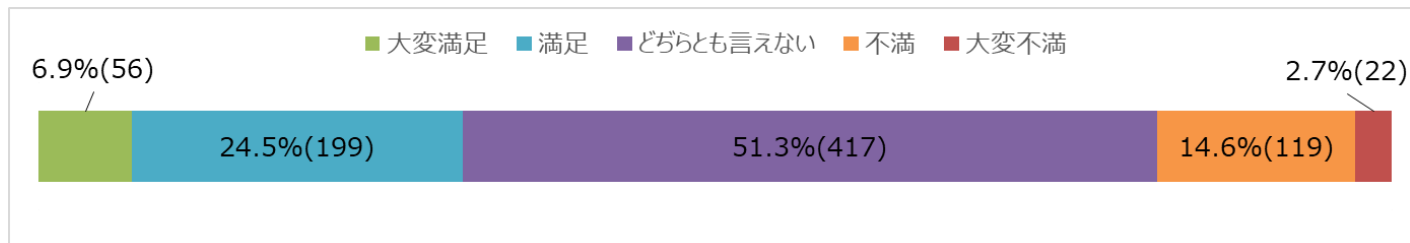
### Q5. 病院と薬局の連携強化・推進への取り組み



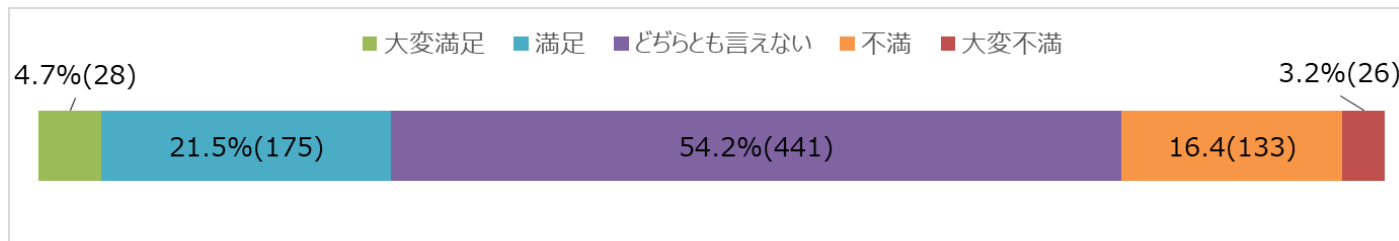
### Q6. 臨床研究の支援、調査研究の実施に関する取り組み



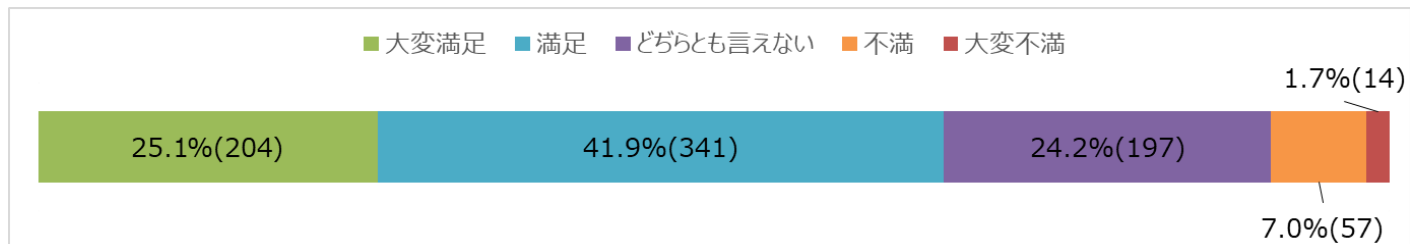
### Q7. 薬剤師または多職種の情報交換、相互交流の推進に関する取り組み



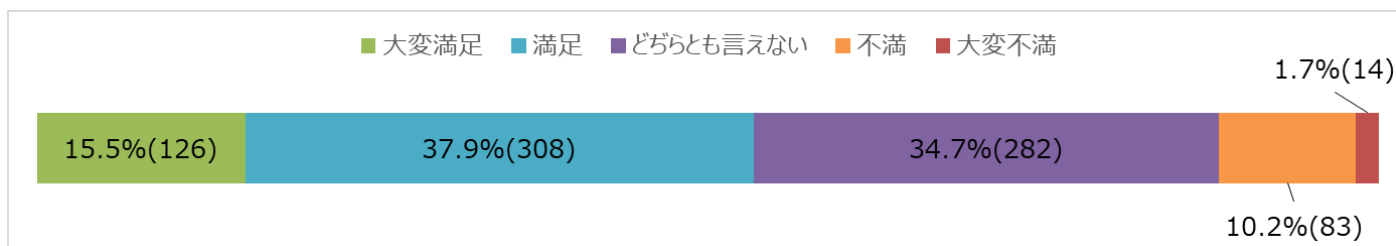
### Q8. がん患者、家族に対する啓発活動



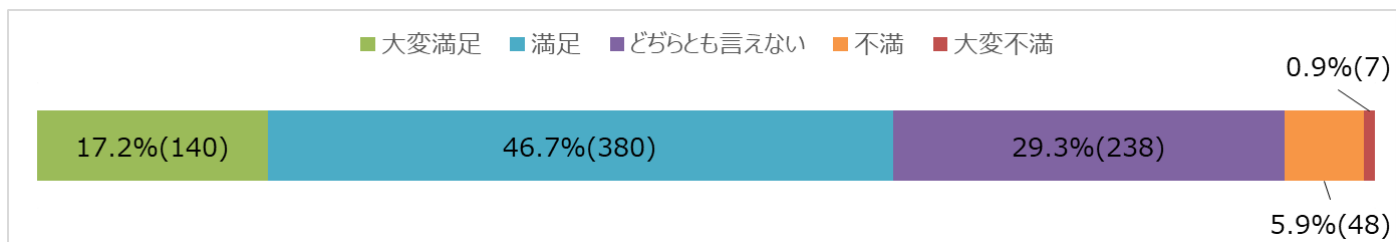
### Q9. 専門性を有する薬剤師の養成・認定に関する取り組み



## Q10.ホームページおよび学会誌による情報発信

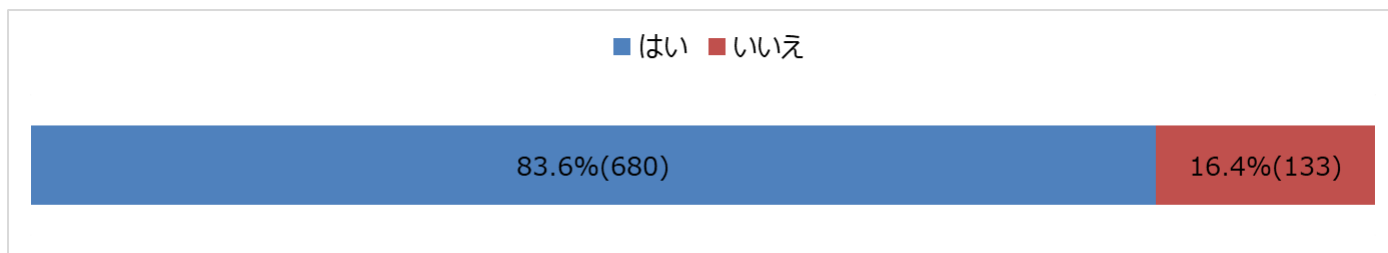


## Q11. JASPO に入会されてからの、総合的な満足度はどのくらいですか？

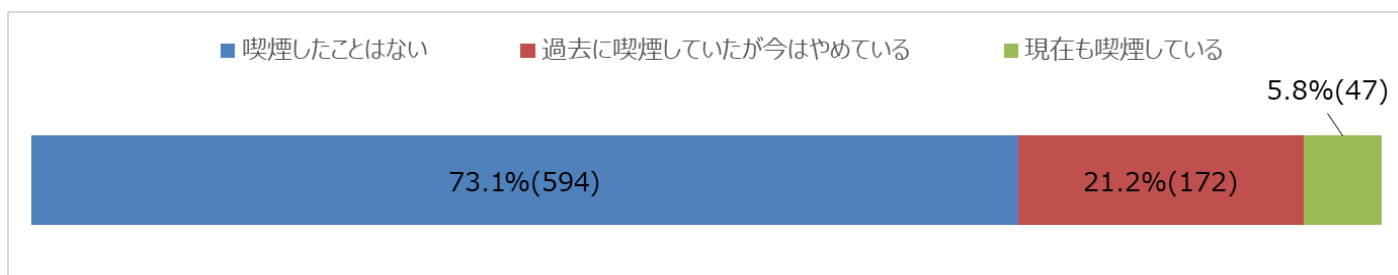


## 禁煙宣言について (n=813)

Q12. JASPO は 2018 年 3 月に禁煙宣言を行いました。JASPO が禁煙宣言をしたことを知っていましたか？



Q13. あなたは喫煙していますか？

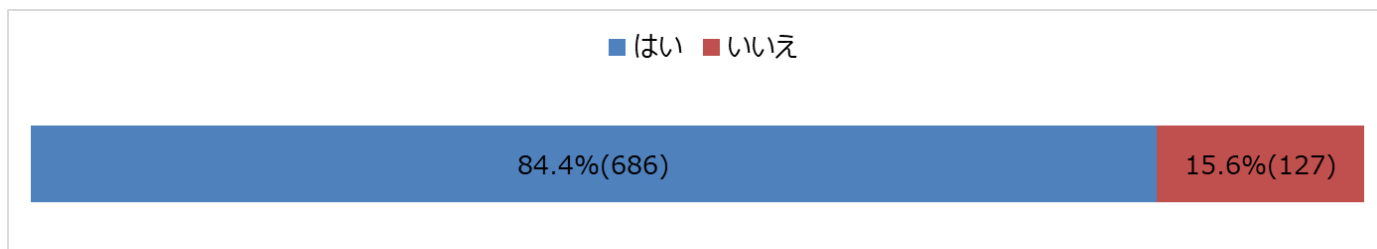


Q14. あなたの職場の喫煙環境を教えてください。



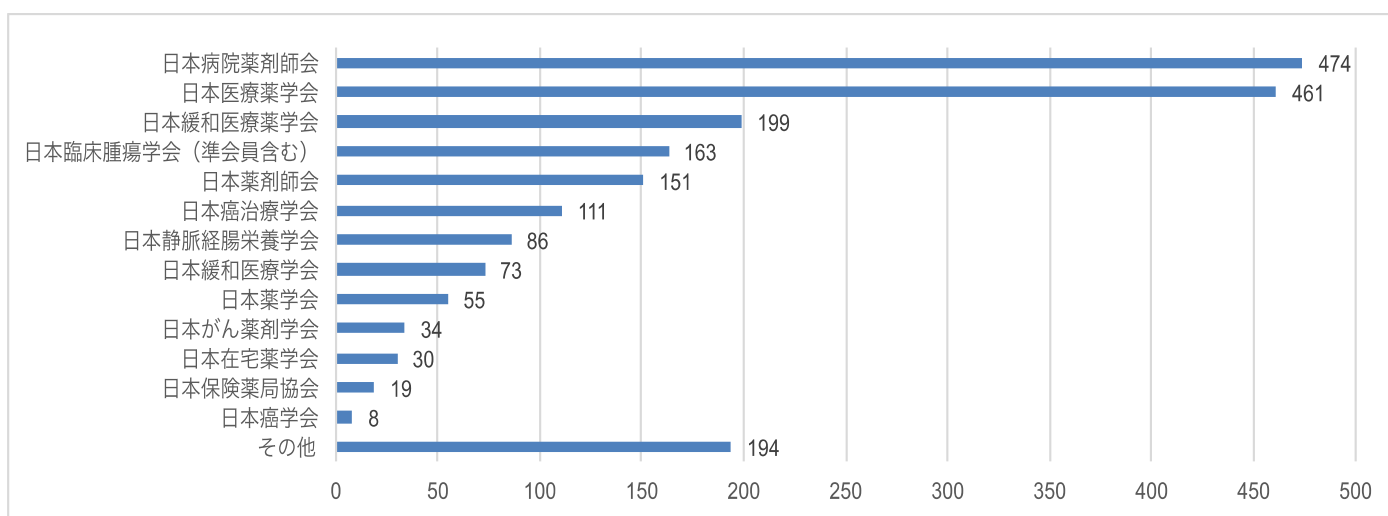
## 所属している学会および団体に関する質問

Q15. 現在、JASPO 以外の医療系学会および団体に所属していますか？ (n=813)



Q16.

「はい」と回答された方に質問です。現在所属している JASPO 以外の学会または団体を教えて下さい。





## Q22. JASPO の今後の運営に関して、改善点やご意見ご要望がありましたらお書きください。

### 学術大会、講演会、セミナー、研修会について

- セミナー、研修会が東京での開催が多い。地方（北海道、仙台、名古屋、京都、大阪、広島、四国、九州）での開催を希望する。(32 件)
  - セミナー、研修会の DVD 上映やインターネットで配信を希望する。(18 件)
  - セミナー、研修会の定員を増やしてほしい。(13 件)
  - e-ラーニングの検討を希望する。(12 件)
  - 参加費を安くしてほしい。(5 件)
  - 過去のセミナー、研修会の録画やスライドをホームページで閲覧可能としてほしい。(3 件)
  - 参加費のクレジット払いへの対応を希望。(2 件)
  - セミナー、研修会後の懇親会を企画してほしい。(2 件)
- 
- 内容について
    - ・それぞれのがんの病態や一般的な治療についての講義があったらさらに知識が深まると思いました
    - ・業務でがん治療に携わる事が少ないが、エキスパートセミナーなど参加していいのか迷います。(何回も参加したいと思ったセミナーがありました。場違いと思われそうで参加出来ずにいます)
    - ・統計学に関する勉強があるとうれしい
    - ・薬局薬剤師だと門前の病院が行っている化学療法しか接点がないため、初級向けの勉強会、かつ地方でもものを増やしてほしい。
- 
- 学術集会について
    - ・学術集会は魅力的な内容でいいのですが、会場がどこも満員でまともに聴講できないことが多いです。中継会場をもっと増やしてほしいです。
    - ・学会がいつも 3 月で年度末であり、忙しく参加できない。
    - ・学術大会の開催時期を春→夏に移行していただきたい。
    - ・学術大会の開催時期を早めてほしい（2 月～3 月初旬）
    - ・学術大会の時期について年度末開催では参加が厳しいので少し早めて欲しい
    - ・学会のシンポジウム内容がマンネリ化しているので、現在の標準治療に至るまでの歴史(臨床試験とか)、薬剤開発の経緯など、未来では無くせるよう過去を学ぶシンポジウムがあっても良いのではと個人的には思います。
- 
- 日程について
    - ・2019 年の薬薬連携セミナー【東京】、エキスパートセミナーのように、同日にセミナーを設定しないで欲しい。
    - ・勉強会はなるべく違う日にやって頂けると助かります。今年はエキスパートセミナーと薬薬連携セミナーが同日だったので、どちらかしか選べず少し残念でした。
    - ・同日にセミナーが重複してしまうと、片方にしか出れないので改善してほしい。また土曜日開催は仕事があるので、できれば日・祝日開催にしてほしい。
    - ・セミナーなどは週末の 1 日だけの開催は 2 日開催に変更していただきたい。航空券がもったいないため、遠隔地からの参加が難しいため。2 日開催なら出してもいいかという気になると思う。

- ・セミナーの終了時刻を早めてほしい。日曜に開催されたときだと、終了時刻が遅いと帰れず月曜からの業務に支障をきたす場合がある。
- ・祝日・祭日以外でのセミナー開催日をご検討いただければ幸いです。
- ・セミナーが充実している反面、乱立している印象を受けます。マッピングで、どのようなセミナーなのか提示頂いているのも助かりますが、もう少し整理してもよいのではないのでしょうか？
- ・セミナーのスケジュールをもう少し早く案内してほしい。

➤ その他

- ・エッセンシャルセミナー等の会場を、もう少し大きくしてほしい。隣の人との距離が近く、特に真ん中の席になった場合、窮屈で講義に集中できないため。
- ・セミナー申し込みの際にログインして申し込みれば会員情報が自動入力する仕組みにして欲しい。

## 病院と薬局の連携強化・推進への取り組みについて

- ・トレーニングレポート受取や院内治療内容の情報提供などの取り組みがないがん拠点病院へ、指導や喚起をしていただきたいです
- ・もう少し在宅医療の分野の情報も欲しいです。
- ・拠点病院の薬剤師や門前の薬局薬剤師はどのくらい入会しているのか？必要性のある場所から薬々連携セミナーを開催してはどうか？小規模のもので十分だと思います。そこから、会員増につながれば良いと思います。
- ・調剤薬局の薬剤師に対する教育
- ・病院と保険薬局の連携をさらに推進する。
- ・病院と薬局は、顔の見える関係で情報共有を継続していく必要があると思います。しかし、どの施設でも一から手探りで始める状況だと思いますので、他の施設でどのような連携をしているのか共有できると嬉しいです。
- ・保険薬局勤務の会員も増えることを期待します。
- ・薬局薬剤師が参加しやすくしてほしい
- ・薬局薬剤師に対する教育の推奨
- ・薬局薬剤師向けの研修を増やして欲しい
- ・薬業連携に関して積極的に取り組んで欲しい。病院薬剤師しかとれない認定制度を薬局薬剤師でもとれるように修正してほしい。

## 臨床研究の支援、調査研究の実施に関する取り組みについて

- ・学会主導での多施設共同研究の実施など出来たら、と思います
- ・地域医療連携、臨床研究においてなにがしたいのか、何をしようとしているのかまったくわかりません。
- ・臨床研究の手法を学ぶ研修会を増やしていただけるとありがたいです。論文執筆を助けて頂けるような研修会があるとありがたいです
- ・臨床試験データの解釈方法についてセミナーなど検討していただきたいです。
- ・論文の査読をもっと適切に行ってほしい。JASPOでrejectされた論文をそのまま他学会に投稿したらすぐにacceptしてもらえた。これでは、誰も投稿しなくなるのが目に見えている。

## 薬剤師または他職種の情報交換、相互交流の推進に関する取り組みについて

- ・ SNS が活用しきれていない。活気のない学会と思われかねないので、やめるか発信する情報を増やすかの方がいい。
- ・ がんの非専門病院や保険薬局の薬剤師の対応力アップにつながる活動を今後もお願いします。
- ・ がん拠点病院の見学ツアーとかやって下さい。
- ・ ホームページでがんに関する動画のコンテンツを希望します
- ・ ホームページを見やすくしてほしい
- ・ メーリングリスト、各種セミナー開催など役立つ情報が多いです。
- ・ メーリングリストで質問された内容の一覧があり、キーワードなどで検索できるといい。
- ・ メールが多すぎて困っています。
- ・ メールでのやりとりでブログみたいに項目別にして頂くと助かります。
- ・ もう少し他職種へ学会をアピールしては？
- ・ もっと他職種が参加しやすい学会にして欲しい
- ・ 以前にやっていた、調剤薬局薬剤師の病院薬局体験、実習をまた復活させてほしい。習いに行きたい。
- ・ 過去のメーリングリストの内容を検索できるようなシステムが欲しいです。自分が入会する前の内容も見たいです。
- ・ 情報をこまめにいただけるのでありがたいです。今後もよろしくお願い致します。
- ・ 薬局薬剤師向けのメーリングがあると良い気がします。現在のメーリングは敷居が高く悩みを出しにくい感じあり。
- ・ 今後もがん診療に関する最新情報の配信、活動の継続していただけると幸いです。

## 専門性を有する薬剤師の養成・認定に関する取り組みについて

- 認定・更新単位を JASPO が認める範囲で他の学会等の参加を単位として認めてほしい。(4 件)
- 上位の認定資格（専門薬剤師等）を創設してほしい。(3 件)
- 認定試験結果の詳細（不合格の理由）の公開を希望。(2 件)
- ・ 外来がん治療認定を標榜できるように活動を行って頂きたい
- ・ 外来がん治療認定の新規認定取得のハードルを下げないで欲しい。ハードルが下がると認定に対する多職種や国民からの信憑性や期待の低下につながる。
- ・ APACC の更新要件について、3 年で JASPO 主催の研修会のみで 60 単位は多いと思います。がん専門薬剤師集中講義はカウントしてもよいかと思えます。
- ・ 医療薬学会がん専門、指導薬剤師、日本病院薬剤師会がん薬物療法認定薬剤師に匹敵する資格制度を創設してほしい。又はがん認定薬剤師の認定資格を他学会と統一化してほしい。混在し過ぎ
- ・ 医療薬学会の認定と、どう差別化するのか不明
- ・ 外来がん治療認定薬剤師について、不正行為がないよう啓蒙をお願いしたい。
- ・ 外来がん治療認定薬剤師の認定において病院、調剤薬局薬剤師ともに認定の質を高く保つように取り組んでいただきたいと存じます。査読時に質の低い症例報告が散見されました。
- ・ 外来がん治療認定薬剤師の面接会場を複数の会場で行って頂けると助かります。
- ・ 外来がん治療認定薬剤師新規認定及び更新に関して、認定者の所属施設における業務上及び金銭的バックアップに関する調査活動を行っていただければと思います。
- ・ 試験対策講座や症例講座を適切な時期にやって欲しい。
- ・ 症例の問題点の指摘（明らかな間違いだけでも良いから）検討して欲しい
- ・ 症例報告についての勉強会の回数を増やしてほしい。
- ・ 症例報告のためのワークショップの開催日時を外来がん治療認定薬剤師 認定試験の申請期間前に開催すると受験者も参加しやすいと考えます
- ・ 他団体と JASPO の認定薬剤師の今後について知りたい
- ・ 地方在住の認定取得希望者への、個別支援を充実してほしい。
- ・ 認定期間を 5 年程度にしてほしい
- ・ 認定更新に必要なセミナーを東海地方で年 1 回で良いので行って欲しい。
- ・ 認定更新の研修会は半分程度は WEB で行ってほしい。地方の人はお金がかかる。
- ・ 認定更新の単位取得が地方だと厳しい
- ・ 認定更新の必須セミナーの定員・回数を増やして欲しいです。
- ・ 認定試験の合格率等の情報が開示は良かった。症例については、他人の流用、創作の可能性もあり、評価しづらい部分もあるので、実務における取り組みや学会発表、論文も評価対象としても良いかなと思う。
- ・ 認定取得のため試験会場、面接が東京のため地方から行くと金銭的に負担です。
- ・ 認定薬剤師取得者について、投薬時に患者様にアピールできるバッチを作ってほしい。
- ・ 保険薬局に勤務しております。症例の習得に苦労しております。病院薬剤師さんとは違い患者様にステージ等伺うことが難しいです。保険薬局の薬剤師はどのようにしていらっしゃるのか？そういった情報も知りたいです。
- ・ 模範的な介入症例の共有
- ・ 薬局薬剤師が認定薬剤師になるための勉強方法など教えて欲しい。

## その他

- ・ JASPO 主催学会の際に、喫煙所閉鎖をするのはいかがなものかと思います。犯罪おかしているわけではないのに、強制してくるのは自由の人権を奪っていると思います。
- ・ 禁煙宣言するのはそちらの勝手ですが、JASPO 学術大会の際に喫煙所を閉鎖されるのは迷惑です。
- ・ がんの患者さんがあまり来局しないのですが、準会員のような何か資格ができたらいなと思います。
- ・ がん薬物療法に関わる加算の更なる向上
- ・ どのような基準で学会の委員を決めているのか。
- ・ 何度も回答が可能な形式、かつ、何度もアンケート回答依頼を送った上での集計をどう解釈されるのでしょうか。このようなアンケートを行なっている時点で、やや学会の運営に不信感が生まれます。回答下さい。
- ・ 会員数がより増えるといいと思いますが、各会員の距離が近くて非常にいろいろ連携しやすい点がこの学会の魅力です。
- ・ 学会がまとめた臨床腫瘍薬学の本はひどかった
- ・ 患者様や国民の方々への啓もう活動を積極的に行っても良いと思います。
- ・ 書籍や講習会の開催方法が微妙。金の亡者みたいな印象がある。
- ・ 大病院と薬局だけでなく中小病院にも目を向けて欲しい
- ・ 地方などにも、教育や情報などしっかりとしたケアを充実して欲しい。
- ・ 地方の会員にもメリットが享受できるような運営をしてほしい。
- ・ 仲良しクラブからの脱却を図るときが来ている
- ・ 保険薬局の高度薬学管理機能の条件に jaspo も関わって欲しい
- ・ 保険薬局の薬局ビジョンにおける専門資格になるのではと頑張ってきましたが、国や上の方々はそうでないようです。診療報酬におけるがん指導料算定要件からも今後 jaspo の資格も外れないか危惧しております。
- ・ 料金の支払をクレジットカードにしてほしい。